

STEP3

発展

# 否定を使った慣用表現



## 1 否定語を含む慣用表現

### 1 not を使ったもの

24 I **can't help but** *blame* myself for the accident. 606

私はその事故に関して自分を責めずにはいられない。

25 You **can't worry too** much about your child. 607

自分の子どものことは、どんなに心配しても心配し過ぎるということはない。

こうした表現では、《話 / くだけた書》では **can't** を用いるが、《かたい書》では **cannot** も用いられる。

● **can't help doing** ≡ **can't help but do** (…せずにはいられない)

**help** は「助ける」という意味ではなく、「避ける」の意味。**not** を伴って「…を避けられない」→「…せずにはいられない」という意味になる。**can't help but do** の形も増えてきているが、どちらかというと《英》より《米》で好まれる。

24' ≡ I **can't help** *blaming* myself for the accident.

The TV program was so funny that we **couldn't help but** *laugh*.

そのテレビ番組はとても面白かったので、私たちは笑わずにはいられなかった。

I **couldn't help** *wondering* what would become of her.

彼女はいったいどうなってしまうのだろうと、私は思わずにはいられなかった。

● **can't ~ too + 形容詞 [副詞]** (どんなに…しても～しすぎることはない)

You **can't be too** careful when you go out after dark.

暗くなってから外出するときには、いくら気をつけても気をつけ過ぎるということはない。

※ **too much** 以外にも **<can't ~ enough>**, **<can't be overestimated [overemphasized]>** という言い方もある。

I **can't** thank her **enough** for all the things she has done for me.

彼女が私のためにしてくれたすべてのことについて、彼女にはいくら感謝しても感謝しきれない。

The importance of health **can't be overemphasized**.

健康の重要性はいくら強調してもしすぎることはない。

● その他の否定語を含まない否定の慣用表現

● **the last ～ to do**（最後に…する～，決して…し（そうに）ない～）

仮定法と共に用いられることが多い。〈**the last ～ + 関係詞節**〉で言いかえることもできる。

I think he would be **the last person to** betray his friends.

彼は友人を決して裏切らない人だと私は思う。

Jennifer would be **the last person to** break the promise.

≒ Jennifer is **the last person who** would break the promise.

ジェニファーは決して約束を破るような人ではない。



● **have [be] yet to do** (《かたく》まだ…していない)

I **have yet to save** enough money to buy that mountain bike.

私はまだそのマウンテンバイクを買うのに十分な金額を貯められていない。

His new book **is yet to be published**. 彼の新刊はまだ出版されていない。

● **remain to be done** (まだ…ない, これから…されねばならない)

It **remains to be seen** whether our commitment will bear fruit.

私たちの取り組みが実を結ぶかどうかはまだわからない。

● **beyond (A's) ...** ((A の) …を超えている, …できない)

The situation was **beyond my control**. 状況は私の手に負えなかった。

コーパス ... にくる主な名詞

**belief** (信じられない), **comprehension** [understanding] (理解できない),

**control** (制御不能で), **doubt** (疑いなく), **reach** (手の届かない),

**recognition** (認識できない), **repair** (修理不能で), **words** [description] (言葉にできない)

など

The statistics prove **beyond doubt** that the vaccine is effective against COVID-19. そのワクチンがコロナウィルスに有効であることは、統計を見ても明らかなだ。

That movie was **beyond my comprehension** [understanding].

≡ That movie was **above** [beyond] me.

その映画は（難解だったので）私には理解できなかった。

cf. **above suspicion** [criticism] (疑問 [批判] の余地のない)

His reliability is **above suspicion**.

彼が信頼できることは疑問を挟む余地がない。

### 3 準否定

#### 1 数・量に関するもの：few, little

38 Few high school students can read through lengthy classics like *The Tale of Genji*. 620

（ややかたく）ほとんどの高校生は『源氏物語』のような古典の長編を読み通せない。

39 We had **little** chance of winning the game. 621

（ややかたく）私たちが勝つ見込みはほとんどなかった。

fewも little も名詞を修飾し、「ほとんど…ない」という意味を表す。38の few は, few books, few children など可算名詞の前に置く。39の little は, little water, little rain など不可算名詞の前に置く。強調する場合は very few / very little などとなる。「少しはある」の a few / a little については→ pp.564-565。

類例 There are **few** articles on Africa in Japanese newspapers.

日本の新聞にはアフリカに関する記事がほとんどない。

There is **little** money left in my bank account.

私の銀行口座にはお金がほとんど残っていない。

We have very **few** choices. 我々に選択肢は本当にほとんどない。

Tom had **little** interest in physics.

トムは物理にほとんど興味を持っていなかった。



## 2 程度に関するもの : **hardly, scarcely, barely**

- 40 I could **hardly** believe that he quit the team. 622  
彼が部活を辞めたとは、私にはおよそ信じられなかった。
- 41 I **scarcely** noticed my son singing in the back row of the choir. 623  
息子が聖歌隊の後列で歌っているのに私はほとんど気が付かなかった。
- 42 The road sign was **barely** visible in the heavy rain. 624  
大雨のなか交通標識がcaろうじて見えた。

**hardly, scarcely, barely** は程度を表す副詞で、「ほとんど…ない」という意味。原則として、一般動詞の場合はその前に、be 動詞・助動詞の場合はその後に置かれる。〔この位置は、not の位置と同じと押さえておくといよい〕

**類例** I can **hardly** wait till you come home. あなたの帰りを私は待ち切れない。

He was so frightened that he **could hardly** move.

あまりの恐怖で彼はほとんど身動きできなかった。

**【!】** **barely** は「caろうじて…」 「やっと…」 (only just) という肯定的意味になることもあるので、否定の意味をはっきり強く言う場合は **hardly, scarcely** を使って「ほとんど…ない」を表す。

The road sign was **hardly** [**scarcely**] visible in the heavy rain.

大雨のなか交通標識はほとんど見えなかった。

**【!】** 〈**hardly** [**scarcely**] **any** ...〉は, few, little よりもさらに否定の意味が強い。

I have **hardly** [**scarcely**] **any** knowledge of Chinese philosophy.

私は中国哲学についてはほとんど知識を持っていない。